

平成 29 年度第 2 回  
野田市廃棄物減量等推進審議会  
会 議 次 第

《日 時》 平成 29 年 8 月 3 日（木）  
午後 2 時から  
《会 場》 保健センター 3 階大会議室

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 諮 問
- 5 議 事

議案第 1 号 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の中間見直しについて

議案第 2 号 指定ごみ袋無料配布枚数の見直し等について

- 6 閉 会

【資 料】

- 資料 1 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）55 項目の事業施策一覧  
資料 2 指定ごみ袋無料配布枚数の見直しについて

## 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の中間見直しについて

平成 29 年 4 月 27 日に開催した平成 29 年度第 1 回審議会において、ご審議いただきました一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）（以下「基本計画」という。）の中間見直しについては、前回の審議会でご審議いただくこととなっております。

基本計画に掲げる 55 の重点施策については、平成 24 年 9 月から平成 25 年 7 月までに 9 回に渡って開催された「ごみ減量実施施策検討委員会」における検討結果や本審議会での第 4 次までの答申を踏まえ、様々な施策を実施してきたところです。

その結果、基準年度である平成 22 年度に対して 28 年度では△9.8%の減量となりましたが、28 年度の減量目標である△16.3%は達成できていません。

また、家庭系ごみについては、同比で△2.1%の減量にとどまっていることから、基本計画に掲げる 4 項目の重点施策 55 の事業のうち、特に、家庭系ごみの減量施策についてご意見をいただきたいと思いますと考えています。

### 1 重点施策の進捗状況について

今年度の見直しに当たり、重点施策の進捗状況について、資料 1「一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）55 項目の事業施策一覧」のとおり実施済み又は継続実施しているものと未実施となっているものを整理しました。

#### （1）実施済又は継続実施中の事業について

直接又は間接的にごみ減量効果を果たしている事業です。事業の実施をもって重点施策から外すべきかどうか、さらなる減量を進めていくために、個別施策をそのまま継続していくか、事業内容を見直し、今後も重点施策に位置付けていくかを検討する必要があります。

#### （2）未実施の事業について

重点施策に位置付けられていますが未実施となっている事業については、それぞれ記載の理由により実施できていません。現状では、実現が難しい事業がほとんどですが、そのまま残していくか、内容を見直ししていくか検討する必要があります。

### 2 今後の進め方について

重点施策については、事務局で「ごみ減量実施施策検討委員会」における検討結果や本審議会での第 4 次までの答申等を踏まえたたたき台を作成しますが、委員の皆さまにも資料 1「一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）55 項目の事業施策一覧」をご参照いただき、見直しが必要と思われる事業や、特に新たな減量施策についてご意見がございましたら、別添の「55 項目の事業の見直し票」にご記入いただき、事務局までご提出いただきますようお願いいたします。ご提出いただいたご意見については事務局で取りまとめ、次回第 3 回審議会にたたき台としてご提示して、審議会全体として

ご審議していただきたいと考えています。さらに、第4回審議会では、ご審議の結果を受けて計画の素案を決定したいと考えております。

その後、素案については、広く市民の皆さんのご意見をお聞きするパブリック・コメント手続きを実施し、市民意見を反映した基本計画の見直し案について第5回審議会でご審議いただいた後、答申をいただきたいと考えています。

## 指定ごみ袋無料配布枚数の見直し等について

平成28年11月28日に開催した平成28年度第2回審議会において、指定ごみ袋無料配布枚数の見直しについては、28年度の無料交換・有料販売枚数が、年度当初突出して交換・販売枚数が多く、27年度の10月時点で比較しても、無料で90万枚、有料で4.6万枚上回っている状況でした。通常年度末にかけて交換販売枚数が多くなるような例年にない枚数の動き方を示していたことから、特殊な枚数の動向を考慮し、年度末までの実績をみた上で、あらためて審議会に報告し、30年度から見直しできるかを検討するとしていました。また、高齢者、障がい者世帯の紙おむつ対策についても、平成28年度第2回審議会において、平成30年度からの指定ごみ袋無料配布枚数の見直しの際に併せて検討していくとしています。

今般、平成29年度6月までの無料交換・有料販売枚数の実績が判明しましたので、ご報告します。

## 1 指定ごみ袋無料配布枚数の見直しについて

## (1) 5カ年の指定ごみ袋の引換状況について（資料2 抜粋）

①29年度の4月から6月までの3カ月分の指定ごみ袋無料交換枚数は、28年度同期間中と比較すると約3.1万枚の増となっています。29年度も28年度と同様、年度当初に突出して交換枚数が多い傾向を示しています。

## ◎無料分

単位：枚

|      | 4月        | 5月       | 6月      | 4月～6月計    | 7月～3月計    | 年度計       |
|------|-----------|----------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 28年度 | 881,040   | 897,570  | 573,920 | 2,352,530 | 5,094,110 | 7,446,640 |
| 29年度 | 1,039,210 | 770,050  | 574,190 | 2,383,450 |           |           |
| 差    | 158,170   | △127,520 | 270     | 30,920    |           |           |

②29年度の4月から6月までの3カ月分の指定ごみ袋有料販売枚数は、28年度同期間中と比較すると約2千枚の増となっています。無料交換と同様に29年度も28年度と同様、年度当初に突出して販売枚数が多い傾向を示しています。

## ◎有料分

単位：枚

|      | 4月     | 5月     | 6月     | 4月～6月計 | 7月～3月計  | 年度計     |
|------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 28年度 | 20,780 | 33,475 | 18,655 | 72,910 | 281,730 | 354,640 |
| 29年度 | 23,930 | 30,855 | 20,445 | 75,230 |         |         |
| 差    | 3,150  | △2,620 | 1,790  | 2,320  |         |         |

(2) ごみの減量状況について

1人1日当たりのごみ排出量

単位：グラム／人／日

|      |     | 6月まで   | 年度末    |
|------|-----|--------|--------|
| 27年度 | 家庭系 | 421.13 | 417.69 |
|      | 全体  | 643.21 | 604.19 |
| 28年度 | 家庭系 | 427.10 | 410.40 |
|      | 全体  | 594.92 | 576.76 |
| 29年度 | 家庭系 | 426.04 |        |
|      | 全体  | 602.04 |        |

29年度のごみの減量状況については、28年度の4月から6月までの同時期の全体と比較すると増加となっていますが、家庭系をみると、前年同期で△1.06グラムと減少しています。

(3) 今後の進め方について

29年度の4月分から6月分までの無料交換・有料販売枚数の状況は、増加傾向にあった28年度の同時期の引換状況からさらに増加しています。

なお、平成28年度の無料交換枚数は、年間1世帯当たり約114枚と前年より21枚増加しております。

一方、同時期のごみの減量状況をみますと、家庭系では、交換枚数の増加に反して、減少しています。これは、平成28年度5月から8月に実施した空隙調査でも約40%のごみ袋が「余裕あり」「多少余裕あり」となっていたことを考えあわせると、ごみ袋を満杯まで入れないで排出する方が多いことが考えられます。

こうした結果を踏まえ、今後は、指定ごみ袋の無料配布枚数の見直しと併せて、ごみ袋容量を選択制とすることも含め、平成30年度に、指定ごみ袋制度そのものについて、廃棄物減量等推進員地区代表者会議のご意見も伺いながら、見直しを検討したいと考えています。また、継続審議としています高齢者、障がい者世帯の紙おむつ対策についても、併せて検討していきたいと考えております。

したがって、平成30年度は指定ごみ袋の無料配布枚数の見直しは行わず、現行の120枚としていきたいと考えています。